

平成二十八年年度 神村学園中等部入学者選抜学力検査問題 【一般Ⅱ】 その一
国語 (五十分)

(注) 答えはすべて解答用紙に記入すること。

一次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(句読点も一字と数えます。)

検索という機能は、使い手が主導権をもち一方的に利用するだけのものではない。それは幻想である。さまざまなビジネス上の仕掛けにより、自分の意志と選択によりたどりついたつもり言葉や情報が、じつは巧みにリードされたものであるということによくあることだ。キーワードを入力して出てくる検索順位は、かならずしもアクセスの多い順番にならないし、インターネットを立ち上げて最初に出てくるホームページは、人それぞれ別の情報が配置されていることもある。すでにネットの入り口からして「中立」でも「ニュートラル」でもない。私たちが検索で利用し働きかけていると思っても、じつはネット側から働きかけられていて、知らないうちにうまく誘導されているということにもなりかねないのだ。

検索を思考だと思えばいいと、その思考は自分で考えたのではなく、ただたんにネットにまるめこまれていただけだということもある。自分の主人は自分ではなくネットになっているという、まるでブラックユーモアのような世界が、すでにそこかしこに出現しているのかもしれない。

検索に限らずネットは、人が主体的に自立的にかかわろうとすることがむずかしい世界なのだ。A 多くの人はそれに気づいていない。検索すること以上にSNSは参加者の主体性を奪っているようにみえる。たとえばあるSNSで一定時間メッセージを飛ばしなかつたとする。その「不在」があらたなメッセージとして他者に伝わる。ひとつの問いかけにたいして即座に返事がこないということが、ある意味をもってしまふ。よって参加者はべつメッセージを送りつづけることになる。積極的にかかわっているようにみえて、内心ではやめたたくてしようがないということもありうる。しかし、簡単に離脱することはできない。

なぜか？「つながり」を失うのが怖いからである。なぜ怖いか？かつてあったはずの現実世界でのつながりがすでに喪失しているからだ。地域や家族の共同体としての力は大幅に失われた。かつて強力に人を支え、あるいは縛っていた職場からもつながりは失せつつあり、流動的で利根的な人間関係だけがわずかに残った。学校やクラスからも一体感は薄れている。

大人にも子供にも、地域、職場、学校ではほぼ自動的に用意されていたといえるかつての共同性が大きく失われたのだ。若い世代ほどそれに敏感だ。B 彼らは友達づくりに励み、グループを形成して絆とつながりを求める。その主戦場がネットなのである。いまやつながりは一人一人が自分でつくりださなければならぬものとなった。だからそう簡単にSNSから退散するわけにはいかないのだ。

(藤原智美の文章より)

*アクセス：情報をさがすためにネットワークやシステムに接続すること *ニュートラル：いずれにもかたよらないさま

*ブラックユーモア：不気味な結果になって、明るく笑えないユーモア *そこかしこ：あちらこちら

*SNS：ソーシャルネットワークキングサービス。大勢の会員のウェブサイトを一度に見たりコメントをつけたりできるインターネット上のサービス(フェイスブックやラインなど) *のべつ：たえず *利根的：非常に短い時間

問一 線①「じつは巧みにリードされたものである」ということはよくあること」とありますが、その具体例を本文中より二つさがし、抜き出しなさい。

問二 線②「知らないうちにうまく誘導されている」とありますが、何に誘導されていると筆者は述べていますか。本文中より九字で抜き出しなさい。

問三 A・B にあてはまる接続語を、それぞれ本文中から抜き出しなさい。

問四 線③「それ」とは、どのようなことですか。本文中の言葉を使って四十文字以内で答えなさい。

問五 線④「簡単に離脱することはできない」とありますが、その理由を説明した次の文の() にあてはまる言葉を、本文中からさがし、()ア()は三字で、()イ()は四字で抜き出しなさい。

かつて地域、学校、職場、家族にあった()ア()としての力が大きく失われた現在、()イ()は一人一人が自分でつくりださなければならぬものとなったから。

国語 (五十分)

(注) 答えはすべて解答用紙に記入すること。

問六 —— 線⑤「地域、職場、学校でほぼ自動的に用意されていたといえるかつての共同性」と同じ内容をさす言葉を、本文中から十字でさがし、抜き出しなさい。

問七 あなたが「人とのつながり」において心がけていることを、百字以内で自由に書きなさい。

二次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(句読点も一字と数えます。)

バスは混んでいた。

二十年前のはなしだから、乗物の数も少なく、おまけに乗る人間も冬は厚着であった。家の中も街も今よりずっと寒く、人は暗い色の冬支度に着ぶかれて、殺気立って朝晩のラッシュに揺られていた。

①その朝も、私は吊革にもブラ下がれず、車の真ん中で左右から人に押されながら、週刊誌を読んでいた。

押しあいへしあいの中で、二つ折りにした週刊誌のページをめくろうとすると、

「あ」

という声がある。

声の主は、黒い学童服を着た小学生低学年らしい男の子で、私の胸のところに押しつけられている。その子は、ちよつと口をあき、訴えるような目で私を見た。週刊誌の向こう側には、漫画が載っていた。彼は、漫画を読み終わらないうちに、ページをめくられたのだ。

私は漫画を少年に見せるようにしてまたしばらく揺られていた。少年の目が漫画の吹き出しのセリフの部分をやつくりと追い、声を出して読んでいる。

バスが少し空いてきて、少年は次の停留所で降りる気配があった。ところが、定期券を忘れたらしい。ポケットを探って困っている。

私が、

「忘れたの？」

とたずねると、怒ったような顔をしてうなずいた。私は、小銭入れからバス代を出し(十円だか十五円であったかおぼえていない)少年の手に握らせた。少年は、小銭を握ったまましばらく外を向いて揺られていたが、降りぎわに胸のポケットから赤鉛筆を抜いて黙って私に突き出した。ボール紙をむくと芯の出でくる、当時としては珍しいもので、父親か誰かに貰ったのであろう、十センチほどの使いかけであった。

黒革のランドセルを背負った小さい姿が、四谷の並木道を走ってゆくのを、私はバスの窓からちらっと見た。

少年の宝物だったに違いない [] を、私は大事なものを入れるチョコレートの空箱に仕舞っておいただが、いつとはなしにどこかへいってしまった。

(向田邦子『眠る至』より)

* 殺気立って…あらあらしく興奮した気分(態度)になって * ラッシュ…通勤・通学者で交通機関が混み合うこと

* 吹き出し…登場人物の口から吹き出した形にかくセリフのかこみ * いつとはなしに…いつのまにか

問一 本文には、次の一文が抜けている。あてはまる箇所をさがし、直前の五字を抜き出しなさい。句点も一字と数えます。

○ おしまいまで読み終えたところで、少年は目を上げてまた私を見た。

問二 —— 線①「その朝も」とありますが、この日の「朝」の場面はどこまで続きますか。終わりの五字を抜き出しなさい。

国語 (五十分)

(注) 答えはすべて解答用紙に記入すること。

問三 〰〰〰線A「吊革にもブラ下がれず、車の真ん中で左右から人に押されながら」・B「二つ折りにした週刊誌」・C「私の胸のところに押しつけられている」とありますが、これらは「何の、どのような状態」を表していますか。十五字以内で答えなさい。

問四 〰〰線②「その子は、ちょっと口をあき、訴えるような目で私を見た」ありますが、そのような目で見た理由がわかる連続した二文を、本文中よりさがし、初めの五字を抜き出しなさい。

問五 〰〰線③「定期券を忘れたらしい」とありますが、「私」は少年のどのような様子からそう思ったのですか。本文中の言葉を使って三十字以内で答えなさい。

問六 〰〰にあてはまる言葉を本文中よりさがし、一語で抜き出しなさい。

三 次の 〰〰線のカタカナを漢字に直し、漢字をひらがなに直しなさい。

- ① ショウミ期限が切れる。 ② マザー・テレサのデンキを読んだ。 ③ 兄はドリョウが広い。
- ④ 人口がイチオクを超えた。 ⑤ 雨でも試合をソツコウする。 ⑥ 切りカブに腰をかける。
- ⑦ 法律の効力が発生する。 ⑧ 伝達が末端まで伝わる。

四 次の 〰〰の中に漢字一字を入れて、四字の熟語を完成しなさい。

- ① 見知らぬ町で右往 〰 〰 往する。 ② グループのリーダーは 〰 〰 場一致で決まった。
- ③ 事件の一部 〰 〰 終を詳しく語った。 ④ 増税には賛 〰 〰 両論がある。

五 次の 〰〰に漢字一字を入れて、ことわざを完成させなさい。

- ① 百聞は 〰 〰 見にしかず ② 芸は 〰 〰 を助く ③ まかぬ 〰 〰 は生えぬ

六 次の漢字の部首名をひらがなで答えなさい。また、それぞれの部首は何画か答えなさい。

- ① 腹 ② 断

七 次の 〰〰に漢字一字をあてはめて、①・②は類義語を、③・④は対義語を完成させなさい。

- (類義語) ① 承知 〰 〰 () 得 ② 誠意 〰 〰 () 心
- (対義語) ③ 完備 〰 〰 () 備 ④ 服従 〰 〰 () 抗

